

公定歩合引上げ等に関する政策委員会議長談

(昭和55年3月18日)

日本銀行は、昨年来4回にわたり公定歩合を引上げ、去る2月には預金準備率の引上げをも行って、その効果の浸透状況を見守ってきたが、このところ卸売物価が騰勢を強め、消費者物価についても上昇の加速が懸念されるなど、物価の先行きは一段と警戒を要する状況にある。一方国内景気は依然着実な拡大傾向を示している。

以上のような情勢にかんがみ、日本銀行は物価の上昇を極力抑止するため、この際金融引締めを徹底させ、総需要の適切な管理を図ることが適当と判断し、本日公定歩合を1.75%引上げる(3月19日実施)とともに準備預金制度の準備率を別紙のとおり引上げる(4月1日実施)ことを決定した。

日本銀行としては、今回の措置が、政府において検討中の各種の物価対策と併せ、物価上昇の抑制に十分な効果を挙げるとともに、為替相場の安定化にも資することを期待している。

日本銀行基準割引歩合および貸付利子歩合の変更

(昭和55年3月19日実施)

- | | | |
|---|--------|------------|
| 1. 商業手形割引歩合ならびに国債、
特に指定する債券または商業手形
に準ずる手形を担保とする貸付利
子歩合 | 年9.0% | (1.75%引上げ) |
| 2. その他のものを担保とする貸付利
子歩合 | 年9.25% | (1.75%引上げ) |

準備預金制度の準備率の変更

(昭和55年4月1日実施)

1. 預金(外貨預金および非居住者自由円預金を除く)の残高についての準備率

指定金融機関	預金残高区分	預金区分	準備率
銀行 長期信用銀行 外国為替銀行	2兆5,000億円超	定期性預金	2.0%(0.25%引上げ)
		譲渡性預金	2.0%(0.25%引上げ)
		その他の預金	3.75%(0.5%引上げ)
銀行 長期信用銀行 外国為替銀行	8,000億円超 2兆5,000億円以下	定期性預金	1.0%(0.25%引上げ)
		譲渡性預金	1.0%(0.25%引上げ)
		その他の預金	2.25%(0.25%引上げ)
銀行 長期信用銀行 外国為替銀行	8,000億円以下	定期性預金	0.25%(据置)
		譲渡性預金	0.25%(据置)
		その他の預金	1.25%(0.25%引上げ)
相互銀行 信用金庫	8,000億円超	定期性預金	0.25%(据置)
		譲渡性預金	0.25%(据置)
		その他の預金	1.25%(0.25%引上げ)
相互銀行 信用金庫	1,200億円超 8,000億円以下	定期性預金	0.25%(据置)
		譲渡性預金	0.25%(据置)
		その他の預金	1.25%(0.25%引上げ)
農林中央金庫		定期性預金	0.25%(据置)
		譲渡性預金	0.25%(据置)
		その他の預金	1.25%(0.25%引上げ)

2. 債券の残高についての長期信用銀行

行および外国為替銀行の準備率 0.5% (0.25%引上げ)

3. 金銭信託(貸付信託を含む)元本の

残高についての準備率 0.5% (0.25%引上げ)

4. 外貨預金等および非居住者自由円

債務の残高についての準備率

(1) 外貨預金等についての準備率 0.25% (据置)

(2) 非居住者自由円債務について
の準備率 0.25% (据置)